

27 (本日) 理事会団交を勝ちとろう!

工藤部、本校、和泉、生田の団交の発展者、先達的助友諸君

我々は正当な権利として団交を要求する
七、二団交において理事長は「自給の技能において学生と話し合う」との確約を行な
うにもならぬが、明確にそれを一方的に破棄した。武田校長が全団の校友会組織を廻
て、「明海は本気で...早稲田のようにはなません...」協力を頼みます」と誤解し
て歩いたのを始め、夏休中中には数度に渡って教授会、教職員、校友会の幹事を集めて説
得工作を行なっている。これは理事長が「学生と話し合う」以前に、既に値上げの方針を
決定し、学内外諸団体の抱き込み工作を行なうてきたことを意味しており、明らかに真信
的行儀である。

工藤五郎、本校、和泉、生田の団交発展者、先達的助友諸君

本日の職員(生田)への抱き込み工作を

阻止し、最後まで団交を追求しよう!

本校の抱き込み工作は、先週より生田理事長は、今日三日に本校職員、昨日和泉、今日生
田の職員への説得工作を終了し、二八日の卒業生教員説明会を学内外世論の統一を計り、
その後で生田と「自給の状態」を話し合う計画である。我々はこのスケジュールが、理事
長の学内世論の計画の重要な一環としてあり、学生を益々苦しめることになり、この計
画は、絶対に許さず、理事長の欺瞞性を全面的に暴露しなければならぬ。

昨日、我々の団交を妨害したかとの質問に対して、武田校長は「スケジュールは
決まってる、生田の説明会をしなければならぬ」と答えたのである。我々
は説明会そのものを中止するものであり、まして説明会を行なうので団交を断行つけない
と、何をかいわんやである。我々は本日、最後まで団交を断行し、団交を勝ちとれるまで
絶対に我々も帰らないし、理事長も帰らない体制をとるべきではないか。本校、生田におい
て理事長を徹底して追及しようではないか。

二八説明会を突刃で阻止しよう

我々は二八に理事長を徹底的に、最後まで追及し、彼らの戦意を納得させるまで団交
を継続させ、二八説明会の断行を我々の力で粉砕しよう。二八説明会は理事長の学内工作
の最後の、そして最大の障壁であり、理事長と我々との全面的な対決の場であり、これを
粉砕することは、必ずしも出陣の勝利は語れない。二七山争から二八山争への連続した
叫びと、秋の山争のヤマ場である。二八団交要求山争に結果し、そのエッセンス
で二八説明会を突刃で阻止しよう。

クラス、サークル、寮で早急に山争委員会

を組織しよう!

(現在)
山争が緊迫化して、早急にクラス、サークル、寮で委員会を組織
し、真正に大衆的団体的な山争委員会を組織しなければならぬ。そのために有定
研究会或いは準備会を結成して、主体的な活動を始めよう。

学費問題対策協議会事務局

28 理事会の全教員に対する説明会を阻止しよう!!